

通常用

作成日： 平成 28 年 11 月 25 日  
担当課： 生涯学習 部 生涯学習 課

### H27年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

#### 1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒ふるさとミュージアム			
所在地	生駒市山崎町11番7号			
指定管理者名	株式会社 地域文化財研究所	指定期間	開始日	平成 26 年 2 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	平成 30 年 3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間	5 年のうち 3 年目
設置目的	生駒の歴史を標榜し、市民のみなさんが過去・現在の生駒を思い、未来の都市像を予測して頂くための施設の設定			
主な実施事業等	常設展示、企画展示、特別展示、体験型普及啓発事業、講座、講演会、資料の収集・保存・調査・研究・普及活動等			

#### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来館者数	人	13,500	10,588	414	
多目的室利用	件	180	290	-5	

#### 3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	27,583,000	27,469,275	27,620,519
指定管理料		26,538,000	26,538,000	26,640,000
利用料金収入	C	210,000	235,915	375,190
自主事業収入		835,000	695,360	605,329
その他				
支出計	B	27,373,000	27,844,830	27,879,252
指定事業費		26,538,000	27,053,720	27,216,430
うち人件費	D	11,000,000	11,185,780	10,647,818
うち再委託料	E			
自主事業費		835,000	791,110	662,822
事業収支	A-B	210,000	-375,555	-258,733
利用料金比率	C/A	0.007613385	0.008588323	0.013583742
人件費比率	D/B	0.401855843	0.40171838	0.381926244
再委託費比率	E/B			
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

#### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他( )
実施結果		意見内容等	対応実績等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>土器パズル、勾玉土笛づくりが楽しかった</li> <li>昔のあそび道具を置いてほしい</li> <li>懐かしい</li> <li>建物が綺麗</li> <li>交通が不便(場所が分かりにくい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お手玉、生駒カルタ、すごろくスペースを新たに設け、子どもから大人まで楽しいひと時を過ごせてもらえるよう工夫をした。</li> <li>生駒駅前施設の案内掲示板のミュージアムの案内地図を訂正し、一人でも多くの来館へと繋げていく。</li> </ul>

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	「生駒ふるさとミュージアムの管理に関する基本協定書」、「生駒ふるさとミュージアム管理運営基本仕様書」、「生駒ふるさとミュージアム管理業務特記仕様書」に基づき、事業を実施している。また、事業報告において評価検証している。
市の評価	基本協定書及び各種仕様書に沿った業務を遂行されており、事業計画に基づいた管理運営をされている。また、計画の変更等については、随時、市への報告、協議により適切な対応がなされている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	幅広い年齢層に対応した周知方法により、来場いただくための情報を広く提供している。講座については、希望された方には全員受講いただけるよう、会場のレイアウトの工夫等により対応している。また、貸室として会議室も利用していただけるよう広報等で周知をし、貸室業務を行い利用に供している。
市の評価	利用者の平等・公平性に配慮した業務遂行がなされている。貸室業務については、さらに利用拡大を図れるよう、継続的なPR活動をお願いしたい。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	幅広い層からの意見・要望を取り入れる為、月ごとに行っている通常アンケート、講演会、イベントの計3種類のアンケートを行っている。参加者からの意見等を活用し、次回への対策・改善に繋げていく。
市の評価	来館者や受講者アンケート等により、事業内容や接遇面において一定の満足度が維持できているものと評価する。利用者からのご意見にも、対応できるものについては速やかに対応されており、今後も、来館者から高い満足度を得られる企画・運営を期待している。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	使用者がいない時の部屋の電気や空調は適宜消すように心掛けている。温水機器などは常に節電モードに設定している。裏紙を利用し、コピー用紙の節約に努めている。ボランティアの協力で中庭の景観維持・植栽管理等を中心にを行い、経費の削減に努めている。
市の評価	節電をはじめとするエコオフィスの実践のほか、ボランティアの方の協力を得て施設管理の一部をお手伝いいただくなど、日常的に経費削減に取り組まれている。引き続き、効率的な管理運営をお願いしたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	講座や講習会、ハイキングなど市民ニーズに対応したイベントを実施し、館への集客に繋げる事業を増やした。多目的室の利用を増やすために施設案内パンフレットの作成を行い、広報いこまちへの掲載に加え、自主学习グループへ案内状を送った。
市の評価	テーマを工夫した講座や講演会、企画展示のほか、様々なイベントの実施により集客につなげられている。今後も、多彩なイベントにより、幅広い層をターゲットにした企画を期待するとともに、引き続き、貸室の利用促進にも力を入れていただきたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	施設管理に支障が発生しない適切な人員数を配置している。イベントなど人手のいる場合は、適宜ボランティアさんへ呼びかけ手伝いをお願いしている。チラシ、広報いこまちに加え、HP、Facebook、新たに追加したいこまるちゃんのTwitterを活用するなど、幅広い年齢層に対応した手段でイベント・講座をはじめ企画展・特別展等の更なる周知に努めた。
市の評価	専門性の高いスタッフの配置により、来館者の展示物への満足度も高く、対応も適切で高いサービス水準が維持されていると評価する。様々な媒体を通して企画展や講座・講演会、イベント等の広報活動にも力を入れられ、その成果が認められる。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	常時利用できる体験学習事業や、定期的実施する講演会等により、博物館施設として市民に広くご利用頂ける環境を提供している。同時に、飲料の提供により快適性も追及している。
市の評価	学校からの見学で歴史・文化の学習や勾玉作りなどの体験学習を行う児童も増えているほか、子ども向けイベントにより、楽しみながら本市の伝統文化に触れる機会の提供等、幅広い世代の来館につなげられている。PRの強化や事業内容の充実により、更なる来館者増を期待している。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	「生駒市個人情報保護条例」を遵守している。また、事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、周知している。
市の評価	引き続き、個人情報の取扱いには細心の注意を払って対応いただきたい。施設の安全管理のうえでも、有事の際には誰もが行動できるようマニュアルを再度確認するなど、常に危機管理意識を持って施設の管理・運営にあたっていただきたい。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	指定管理者による自己評価
	事業実施にかかる費用や他館の設定料金等を鑑みて、妥当と思われる料金を算出し、事業を継続実施している。事業実施に先立ち広報活動に重点を置き、広く市民にPRを行った。
	市の評価
	当年度は早急に対応すべき史料保存にかかる負担増があり、当初予算の範囲を超える支出となった。今後、自主事業においても収益を伸ばせるような事業展開を期待する。

#### 6 指定管理者の財務の状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資産	19,667,194	18,995,837	20,711,696
流動資産	18,132,732	17,544,219	17,423,822
固定資産	1,534,462	1,451,618	3,287,874
負債	15,325,627	13,706,750	15,223,076
流動負債	5,483,475	5,592,598	8,736,924
固定負債	9,842,152	8,114,152	6,486,152
純資産	4,341,567	5,289,087	5,488,620
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	76,336,645	66,013,608	67,885,148
経常利益	3,690,698	1,320,420	39,756

#### 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自己資本比率 純資産/資産×100	22.1%	27.8%	26.5%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	353.0%	259.2%	277.4%
固定比率 固定資産/純資産×100	35.3%	27.4%	59.9%
流動比率 流動資産/流動負債×100	330.7%	313.7%	199.4%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	10.8%	10.8%	27.5%
総資産回転率 売上高/資産×100	388.1%	347.5%	327.8%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	18.8%	7.0%	0.2%

#### 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
広報いこまち、HP、Facebook、Twitter、イベントごとのチラシ配布等で広報活動を行い、知名度はやや向上していると思われるが、まだまだ認知度を上げる必要がある。学校教育との関わりにおいては、本年度は市内全校3年生の見学を得た。中学校の職場体験・見学数も増加しているが、更に体験学習・出前講座等のPRを行い学校教育の一環に組み入れて頂くように提案し働きかけていきたい。講演会や各種イベント等については、アンケート等をもとに市民のニーズに合ったものを計画立案していきたい。また、これらの取り組みを充実させるため、資料の調査、研究、収集、保存、活用に努めていく。
市の評価
当年度は、市内全小学校からの見学があったことに加え、子ども向けイベントの充実により、子どもたちに歴史や伝統文化を学ぶ機会となり、同時にミュージアムの知名度にも一定の成果があったといえる。しかし、一般市民にはまだまだ広く認知されていない面もあり、今後も引き続き、PRキャラクターの活用を含めた情報発信を強化されたい。また、幅広い年齢層に本市の歴史文化を身近に感じ、関心を持ってもらえるような企画、郷土愛の醸成につながる事業の展開を期待する。